

## ⑥ 男性も女性も誰もが活躍できる社会

### 20年後に実現したい姿

#### 【性別にかかわらず誰もが社会参画できる社会】

●男性も女性も誰もが、性別にかかわらず自らの意思によって社会のあらゆる分野の活動に対等に参画し、ともに責任を担うことができる社会が実現しています。

### 4年間の対応方向・具体方策

男女が希望に応じた生き方・働き方を選択できるよう支援します。

- 1 「女性活躍応援塾（仮称）」を開設し、地域で活躍する女性を総合的に支援
- 2 女性のM字カーブを解消するため、「ホップ・ステップ・ジャンプ型就業プロジェクト」を創設し、子育て期からの仕事復帰を支援
- 3 女子中高生の理系進路選択を応援する交流イベントや進路相談の実施
- 4 男性の育児休業の取得率向上に向けた意識改革等、働きやすい職場環境づくりの推進
- 5 「京都ウィメンズベース」を核とした女性の活躍の推進
- 6 マザーズジョブカフェにおける、働きたい女性に対する多様な研修プログラムの実施
- 7 事業主行動計画の策定や「京都モデルワーク・ライフ・バランス企業認証」取得等の支援
- 8 女性社員の各キャリア段階に対応した企業横断型の研修の実施、人材育成を通じた女性登用の促進
- 9 地域課題や人材不足等、社会のニーズにマッチするリカレント教育科目を設定する大学の支援
- 10 「中小企業応援隊」等と連携した「女性アントレプレナーサポートチーム」による起業の支援
- 11 府庁女性職員の管理職・役付職員への登用の推進